



遠近新聞

第廿九號

定價一畝



西垣文庫
文庫 10
7265
27



特 文庫10
7265
27



遠近新聞第二十九号

慶應四年六月四日

今日日本は於て歐羅巴諸國をとりて五大洲の事共を
示し廣むる其國民を開らる基あり凡歐羅巴の日
月のまやびなきもむくも皆こそ世の尊を多く見知
り故あり若し世の中の事を考へ此れゆゆのま
ぎをねまやまんとする時その智惠の増えことあり
今日日本の國民のうごひもあく利發よりて亞西亞
洲他の國々の及ぶ処はあはれなきも其の智惠を
みづるべきは平和のゆゑ玉と同一是をときとがく

遠近新聞

百四十六

西澤文庫

5738

月先つ下のニヶ祭を心得べし
 初め月の歐羅巴の月を經年を重ねて見出しつゝ
 事を書き次び己は自分工夫をこらして新なる
 を見出さべし今却て他國の發明を頼りて人のま
 ねのまをる國ともいふ大手を振りて其前を行くこと
 あらざるに迷ふるも亦りやくものあり今若しそのらく
 かりやく事をきく此のうをきくをうのしと旦つ其
 價を送りて我が心を励まし我が力を助けあふ年々
 三十度の新しき夏並に商の事を書記しちや船のよ
 よりは送り届けべし

まかけ名のいろとり

近頃佛蘭西にてまかけ名寫真又ハホトガラヒの種
 々の色を何りのゆゑに寫さるゝを工夫せんとして年
 久しく骨折てかあめある事をかんてん出せし我も
 その色々の影形をその色のまゝに寫し取りしるを
 足し去りあがら暗き所はこめ置ざればその色はち
 中ちきへうせし人よ見まこと何れをさされども以
 たらふらつたの色をとむる事を工夫し得たりその中
 青色ハ尤もよくしつゝに到りて其は實は學者の其
 業は骨折つともむるゝあり

惠歐羅巴の人をとりし事ありきりるは何故に發明
 の事は工夫をこらし力を尽さざるやことを捨て只
 歐羅巴の武器鉄砲の類をつとめて買ひ求むるは徒
 は我が國のこころを費し人の國の力を増すもの
 ありいとちかみたるはさきより前よりハ真影画
 は骨折ともろくくの業を學ぶに進むやうにあき
 てを立て人々をさげすむ事その國の第一の要より
 てちかよるづのものゝを貯ふより猶うちかよる
 ることのあり

右のよものうち第一番より抄出此新聞紙ハ第廿

八号のりりる如く佛蘭西の都巴理刊行日本文
 の書あり一ヶ年三十号づゝ刊行一ヶ年分二十
 ランク日本三兩一朱と江戸一號分七十五サンチ
 一ム日本一朱と江戸銀右本國注文致しハハ急便
 して差送りの中由

○五月廿五日に達お成ハ由書舟の別紙写

御別紙

勅命之趣難有 御請出 仰出ハ右ハ旗本知行所等
 之儀は舟ハ願出 仰立ハ品も有之ハ 思召
 以間ハ其得其意ハ

辰五月廿五日内目舟より到来

丹波守事

丹波

備後守事

新藏

筑前守事

綾雄

伊豆守事

伊豆

右此度改名有之由

五月廿九日薩州勢あらん一番手より三番手まで都
合三小隊より轡の紋の旗を持し其次は何もの者
りやまを赤と黒と深分けの旗を持し一小隊上
野より千住の方へ進み其次は備前の兵の
来らん由あれども夫の見ざりしと當日上野辺通行
の者の語らるしを聞て其ゆゑある也

或る人より諸国人別調とりんる書を送りて是は少
し古めたるれども得かき書あるは櫻上上せし世

公よせば如何のりなり即ち其詞は従ひ速く彫
 刺よかくもり然共紙員多りも不
 一より此号を始めたり毎号の末は一牧或は二牧
 を加へんとは素より別紙とて加ふるものなれば
 一面の満つるまで記し其余の次号の末は出し尽く
 書加へるに至り合して一冊の書とあるもの趣向は
 必きくも一度の両号は跨るものありとせむ願
 覧者之を怪しむ事あるれ
 附り本書朱書のとてころの上よ〇之印をつけ其
 代りともせ

諸國人別調ノ一

文化元子午

諸國人別調

大目舟

神保 佐渡守

御勘定奉行

石川左近將監

諸國人別の儀は料の代官私領の領主より去る
 午年之通當子年お改其中より十二月まで書舟差
 出集一冊は成り事

一 男女人数十五歳までの内領主はお改の格例を以
 改出より年齢不同有之り事
 一 御朱印地除地の寺社領人数も諸國人数の内は籠

り外事

一江戸駿府京大坂奈良堺伏見大津長崎等の町屋鋪
 地子免許の場所并は諸国城下町地子免許の地の
 人数も勿論惣人数は不漏事
 一朱書を以記すに高元禄年中国所より差出の郷
 帳を以お記す事
 一向後もお觸れ不及子年と午年の前々の通お改
 差出の積の事
 一武家方奉公人并は僕もの諸國人数の内除き
 事

諸國人別調

御料私領

○二十二万四千二百五十七石余
 一人数四十六万九千五百十九人 山城
 二十四万二千九百二十人 男
 二十二万六千五百九十九人 女
 同 ○五十万四百九十七石余
 一同三十四万七百六十六人 大和
 十七万四千七百六十七人 男
 十六万五千九百四十人 女
 同 ○二十七万六千三百二十九石余
 一同二十一万四千九百四十五人 河内

十万九千九人

男

十万五千九百三十六人

女

同

○十六万二千六百九十二石余

一同二十万二千二百八十三人

和泉

十万三千百九十三人

男

九万九千九十九人

女

同

○三十九万二千七百七十七石余

一同七十八万九千八百五十七人

棋津

四十一万九百六十六人

男

三十七万八千八百九十一人

女

